

○和泉市留守家庭児童会条例

平成27年3月27日

条例第3号

(設置)

第1条 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校（義務教育学校の前期課程を含む。以下同じ。）に就学している児童に対し、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業として実施する和泉市留守家庭児童会（以下「児童会」という。）を設置する。

（平28条例27・一部改正）

(名称及び位置)

第2条 児童会の名称及び位置は、規則で定める。

(入会資格)

第3条 児童会に入会することができる児童は、次の各号のいずれにも該当する者とする。ただし、市長が特別の理由があると認める者は、この限りでない。

- (1) 保護者の労働又は疾病等の理由により、保育を必要とする者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校（和泉市立小学校に限る。）に在籍している者

(入会の申請及び許可)

第4条 児童を児童会に入会させようとする保護者は、規則で定めるところにより市長に申請し、許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、児童会への入会を許可しない。

- (1) 児童が前条の入会資格を有しないとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が児童会の運営上不適当と認めるとき。

(入会の許可の取消し等)

第5条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可を取り消し、又は児童会への出席を停止することができる。

- (1) 児童が第3条の入会資格を喪失したとき。
- (2) 保護者が次条に規定する負担金を3月分以上滞納したとき。

(3) 児童が月の初日から翌月の末日まで引き続き児童会に出席しないとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が児童会の運営上必要と認めるとき。

(負担金)

第6条 児童会に入会した児童の保護者は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第224条の規定に基づき、留守家庭児童会保護者負担金（以下「負担金」という。）を納付しなければならない。

2 負担金の額は、児童1人につき月額5,500円とする。ただし、同一世帯において2人以上の児童が入会するときは、そのうち1人を除く児童の負担金の額は、1人につき月額2,750円とする。

3 前項に定めるもののほか、延長利用（通常の利用時間を超えて児童会を利用することをいう。）に係る負担金の額は、児童1人につき月額1,500円とする。

4 市長は、児童の属する世帯について災害、経済的困難その他特別の理由があると認めるときは、規則で定めるところにより負担金を減額し、又は免除することができる。

5 既納の負担金は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

6 前各項に定めるもののほか、負担金の納付については、規則で定める。

(平28条例7・一部改正)

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年条例第7号）

この条例は、平成28年10月1日から施行する。

附 則（平成28年条例第27号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。